

第1回 出石地域デザイン懇談会を開催しました

3月20日（土）出石多目的ホールで、「出石地域デザイン懇談会」を開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

はじめに市から、これまでの公共施設再編、公共施設マネジメントの取組みなどについて説明し、そのあと「出石地域内にある公共施設の現状と利用実態等の確認、共有」を行うため、参加者の皆さまに5つの指標（① 生活機能 ② 利用機能 ③ 経済機能 ④ 安全安心機能 ⑤ 風土形成機能）から各公共施設を診断していただきました。その結果を見ながら、意見交換を行いました。

<懇談会の様子>



第2回地域デザイン懇談会開催のお知らせ

開催日時	開催場所	内容（予定）
2021年5月29日（土） 午後3時～	出石健康福祉センター	地域住民の生活と身近な公共施設との関わり

【懇談会の傍聴について】

傍聴をご希望される方は、出石振興局地域振興課へ電話、Eメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：出石地域に在住・在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 52-3111 Eメール：izushi-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年5月26日（水）

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

- ◆ 特定の方にとっては大事かもしれない施設の判断が難しい。分からない施設がいっぱい。
- ◆ 市営住宅を売って民間に入ってもらって、家賃補助をした方が良いのでは。
- ◆ “2施設を1施設に統合する”ことが使いにくい理由になる可能性がある。
- ◆ 「利用率が低いから廃止する」はやめてほしい。利用率を上げるソフト面を考えて欲しい。
- ◆ 出石の課題としては、空き家の活用が大切である。
- ◆ 各団体に持ち帰って意見を募りたい。自分に関係が薄い施設は評価しづらい。
- ◆ 隣保館の使い道がわからない。隣保館はどんな所で、何に使われているのか。
- ◆ 残してくれる施設には異論はないので、再編計画で検討の施設だけ議論すれば良いのでは。
- ◆ 次世代（中学生・高校生など）が話し合える場があったらいい。
- ◆ 参加されない人にも公開できる方法を考えてほしい。
- ◆ 人口、利用頻度などではなく、地域の事情を考えてほしい。
- ◆ 出石振興局が何をしているところか分からない。
- ◆ 健康福祉センターの調理室を良く利用している。広くて、食器・調理台も多く利用しやすい。
- ◆ 福住地区は、乙女の湯、グランピング、スポーツ施設、病院があって賑わっているが、それらを減らすのはやめてほしい。
- ◆ 体育館はB&Gだけであり、なくなることは痛手となる。
- ◆ 学校は賑わいのもと。残してほしいが、児童も少なくなっている。
- ◆ 小学校を徐々に統合するのではなく、全校を1つに統合しては。
- ◆ 地元出身者とそうでない人の意見に差がある。世代間の問題もある。

【参加者アンケートより】

- ◆ この会で色々意見をを出しても市がつくった公共施設マネジメント計画に沿って進んでしまう様な気が多分にする。
- ◆ 自分の街のことを考える機会として、とても良いと思いました。
- ◆ 色々な意見が出ているが、どう一本化していくのか。
- ◆ いろんな方の意見を聞かせていただき参考になりました。
- ◆ 年代、地域のバラつきがあり、意見交換が難しい。
- ◆ いろいろな団体から代表として参加された方達であることが分かった。関わる団体によって公共施設に対する温度差があると思った。
- ◆ 公共施設について考えたことがなかったので、とてもよい勉強になりました。
- ◆ 懇談会で出された意見が政策決定につながるプロセスを明らかにして、進めていただきたい。
- ◆ 総合的に判断して、必要な物を残すようにするのが良いと思う。
- ◆ 気になる、気にならないではなく、暮らしに何が必要かを考えた上で話し合いたい。暮らしやすい町にするにはどうすれば良いか。施設の話はそれからだと思う。

9
当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
出石振興局 地域振興課 電話 52-3111